

科目名	障害児保育Ⅰ			担当教員	廣瀬 翔平、杉山 文乃、中山 和也、田倉 さやか、山内 美稀、畑原 幸貞
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED2CSR323
期待される学修成果	基礎教養 子ども理解				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	保育士（1名）公認心理師（2名）児童発達支援管理責任者（2名）社会福祉士・精神保健福祉士（1名）				
実務経験を生かした授業内容	児童発達支援事業所や放課後等デイサービスでの発達に凸凹がある子どもたちの支援経験に基づく授業を実施する。				
到達目標及びテーマ	① 様々な障害のある子どもについて理解すること ② 障害はないものの、配慮を要する子どもについて理解すること				
授業の概要	保育園、幼稚園、子ども園には、発達障害や知的障害など様々な障害のある子どもや、障害がないものの配慮を要する子どもが生活しているため、障害や配慮に関する知識を身につけることが欠かせない。映像や事例を活用しながら、特別の支援を必要とする子どもたちがどのように発達するのかを理解することを目指す。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション 担当：廣瀬
第2回	障害の概念 担当：畑原
第3回	障害の概要 1（視覚障害・聴覚障害） 担当：杉山
第4回	障害の概要 2（ASD・ADHD） 担当：山内
第5回	障害の概要 3（ASD・知的障害（ダウン症）） 担当：田倉
第6回	障害の概要 4（LD・DCD） 担当：杉山
第7回	障害の概要 5（病弱・医療的ケア児） 担当：廣瀬
第8回	社会的養護，被虐待 担当：中山
第9回	合理的配慮と環境調整 担当：中山
第10回	行動の理解 担当：畑原
第11回	子どもと関わるうえでの注意・一対一での支援 担当：田倉
第12回	子どもと関わるうえでの注意・子ども集団への支援 担当：畑原
第13回	事例検討を通した障害児理解1 担当：山内
第14回	事例検討を通した障害児理解2 担当：山内
第15回	総括 担当：廣瀬

事前学修	0.5時間	教科書や資料の指定された部分を読んでおくこと。
------	-------	-------------------------

事後学修	0.5時間	次回授業の冒頭を実施する小テストに備えて授業内容を復習する。
フィードバックの方法	・授業後に行ったコメントシートに対して必要に応じて個別にコメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	70%	授業後課題による理解度確認
上記以外の試験・平常点評価	30%	ワークおよび発表
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト 特別支援教育	一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構（監修）	中央法規出版	978-4-8058-8767-7	なし
参考資料	幼稚園教育要領、保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育保育要領			

科目名	障害児保育Ⅱ			担当教員	廣瀬 翔平、杉山 文乃、中山 和也、田倉 さやか、山内 美稀、畑原 幸貞
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	ED2CSR324
期待される学修成果	子ども理解 態度				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	保育士（1名）公認心理師（2名）児童発達支援管理責任者（2名）社会福祉士・精神保健福祉士（1名）				
実務経験を生かした授業内容	児童発達支援事業所や放課後等デイサービスでの発達に凸凹がある子どもたちの支援経験に基づく授業を実施する。				
到達目標及びテーマ	① 特別の支援を必要とする幼児に対する支援の方法および個別の支援計画について理解すること ② 特別の支援を必要とする幼児を育てる保護者・きょうだいを含む家族に対する支援を理解すること				
授業の概要	特別の支援を必要とする子どもたちを支える、保育のあり方を探究していく。特別の支援を必要とする子どもへのかかわりのみならず、周囲の子どもたちへのかかわり、インクルーシブな保育のあり方、個別の教育支援計画の策定、内部および外部機関との連携、保幼小連携、海外の特別支援教育等を理解していくことを目指す。加えて、特別の支援を必要とする子どもの家族やきょうだいに対する理解を深めることを目指す。 冬休みに児童発達支援事業所に見学に行き、子ども支援について理解を深めることを目指す。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション 担当：廣瀬
第2回	保護者支援1（ペアレントプログラムについて） 担当：杉山
第3回	保護者支援2（ペアレントトレーニングについて） 担当：杉山
第4回	きょうだい支援 担当：田倉
第5回	本人支援 1（発達支援の基本；1対1） 担当：山内
第6回	本人支援 2（発達支援の基本；子ども同士） 担当：畑原
第7回	本人支援 3（身辺自立） 担当：中山
第8回	乳幼児健診からの子育て支援 担当：山内
第9回	子育て支援と連携 担当：畑原
第10回	保育園就学時健診・小学校 担当：中山
第11回	個別の指導計画の基礎知識 担当：中山
第12回	個別の指導計画作成にあたっての配慮点（指導計画の記入例とポイント） 担当：廣瀬
第13回	事例検討（観察結果から必要な目標を考える） 担当：田倉
第14回	事例検討（目標にあった支援計画を考える） 担当：田倉
第15回	個別指導計画の発表会 担当：廣瀬

事前学修	0.5時間	教科書や資料の指定された部分を読んでおくこと。 最終回の個別指導計画発表会で発表できるようにする。
事後学修	0.5時間	次回授業の冒頭を実施する小テストに備えて授業内容を復習する。 最終回の個別指導計画発表会で発表できるようにする。
フィードバックの方法	・授業後に行ったコメントシートに対して必要に応じて個別にコメントする。 ・ワークや発表について、コメントをする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	60%	授業後課題による理解度確認
上記以外の試験・平常点評価	40%	ワークおよび発表
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
幼稚園・認定こども園キャリアアップ研修テキスト 特別支援教育	一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構（監修）	中央法規出版	978-4-8058-8767-7	なし
参考資料	幼稚園教育要領、保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育保育要領			